



町の中心拠点を核に

すべての町民が

生き生きと活動する町へ

美里町役場 総合政策課
まち創生係 飯野・高田



町の紹介

町の紹介

～位置・地勢～

- ✓ 東京都心より**80**km
- ✓ 埼玉県の北西部に位置
東部は深谷市
北部・西部は本庄市
南部は寄居町および長瀬町
- ✓ 面積は**33.41**km²、東西5.5km、
南北9kmと南北に長い
- ✓ 南部の**山間地帯**と中央以北の
平坦地により構成



町の紹介

■ブルーベリー

美里町のブルーベリーは、埼玉県の日照時間の多さを活かし陽をたくさん浴びた、みずみずしい果実がみのります。

心地よい甘さが魅力で、6月上旬から8月下旬にかけて町内の農園が開園し、摘み取り体験ができます。

また、春には「花」を咲かせ、夏には「実」、秋には「紅葉」となり、季節の変化を感じることができるのもブルーベリーの魅力のひとつです。



町の紹介

■エゴマ

シソ科の植物の1年草。

エゴマに含まれるオメガ3脂肪酸のひとつ、「 α -リノレン酸」は、**生活習慣病（高血圧、心筋梗塞）、認知症などの予防に効果**があるといわれ注目されている。

美里町では、主に南部の中山間地域での生産が盛ん。

健康食材のため、**無農薬、無化学肥料での生産**を推進している。



エゴマ実



エゴマ花・葉



黄金色の「エゴマ油」

町の紹介

総人口 **10,848人** 男性:5,503人 女性:5,345人 (2023.7.1現在)

人口は**緩やかな減少傾向**にあるが、

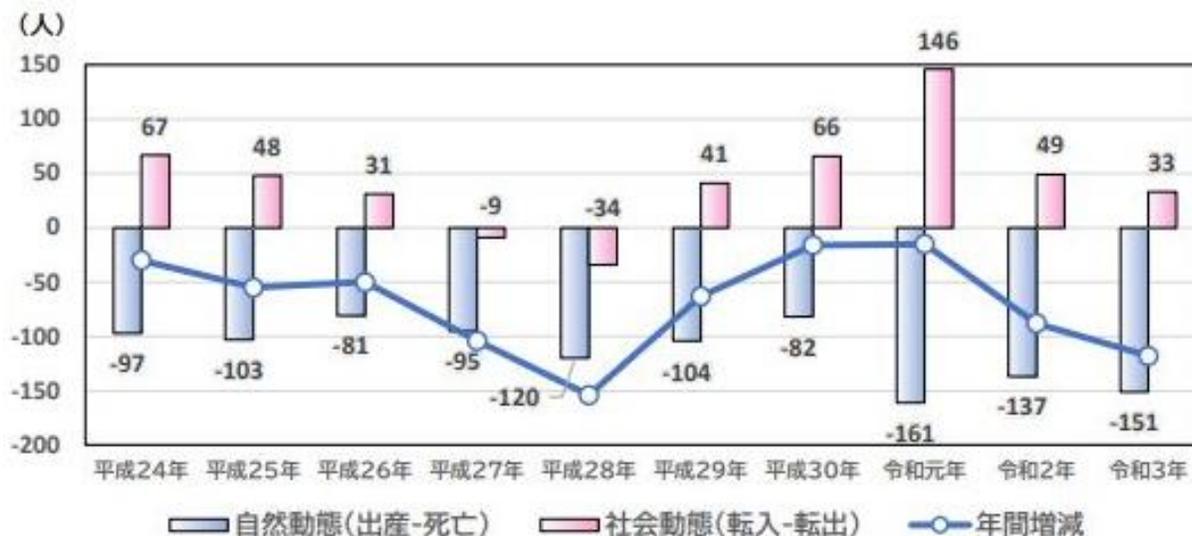
社会動態は近年、**転入者が転出者を上回っている**状態にある。

年齢3区分別の人口推移及び将来人口推計



資料：国勢調査（2020年まで） ※総人口は「年齢不詳」を含む
国立社会保障・人口問題研究所推計値（2020年以降）

人口動態（転入・転出）



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（外国人含む）

町の紹介

昼間人口 **11,593**人 / 夜間人口 10,930人

⇒ 通勤者が美里町に流入している拠点性が高い地域

従業者数(地域内の就業者数) 6,522人

就業者数(地域住民の就業者数) 5,483人

* 約 **1,000**人通勤者が美里町に流入





町民の声

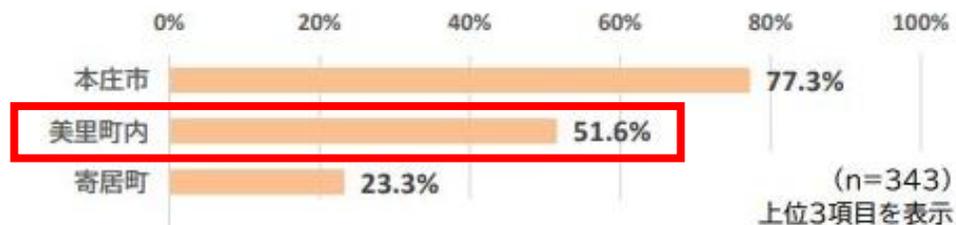
町民の声

■ 日常の生活・行動について

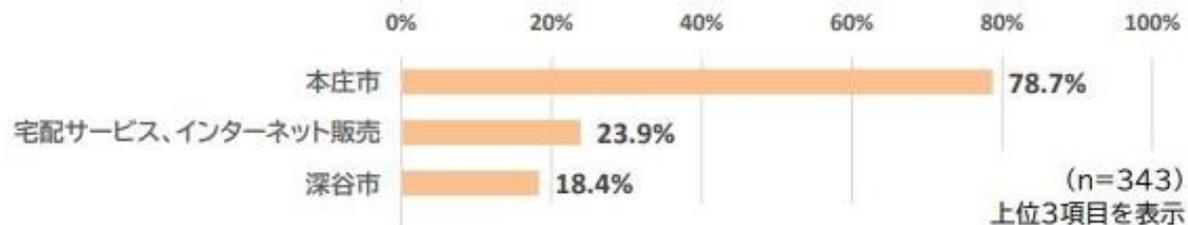
「買い物」「医療施設」は周辺市町・宅配サービスに依存

日用品を購入する「商業施設」や「子育て支援施設」を求めており、
町で暮らし続けるにあたって、日常の生活・行動の利便性が重要！

◆ 日用品の買い物場所【2つまで選択】



◆ 日用品以外の買い物場所【2つまで選択】



◆ 生活するうえで町内に必要な施設【2つまで選択】



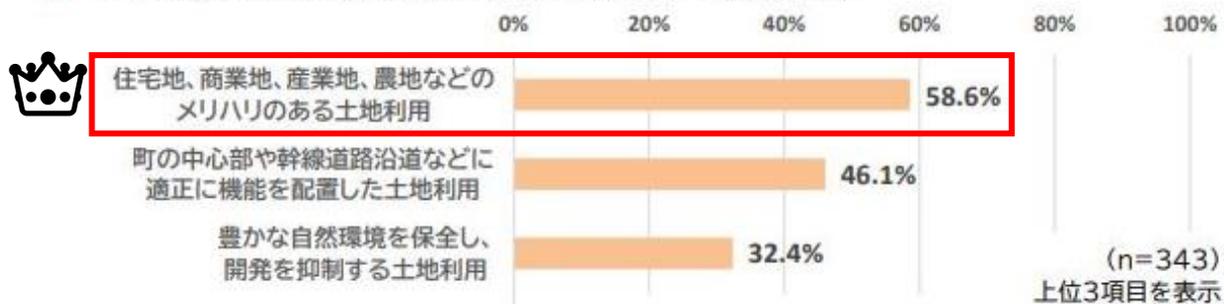
町民の声

■調査結果

- 役場・松久駅周辺エリアには**商業施設をまとめていくべき**との回答が多数
- 寄居スマートIC周辺・役場・駅周辺エリアでは飲食店やスーパーなど、

町民の日常生活を支えるための商業施設が必要との回答が多数

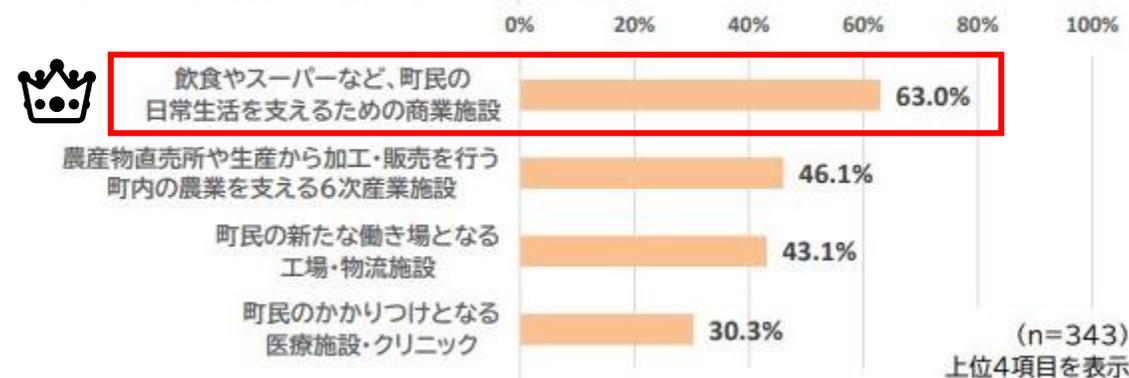
◆ どのような土地利用を進めていくべきか【2つまで選択】



◆ これからの本町の商業地について、どのように誘導・整備していくべきか【2つまで選択】



◆ 寄居スマートIC周辺や役場・駅周辺において、今後どのような施設が必要か【4つまで選択】



町民の声



■ 中学生の声

- 何もなくつまらない
- 出かける場所がない
- 田舎で住みにくい
- 買い物をするとき近くにお店やスーパーがなくて不便
- 交通の便が悪い
- わざわざ美里町に住む必要がない
- できる仕事に限られる

■ 町民の声

- 若者が利用しやすい施設があるといい
- 町内で買い物をするという発想がそもそもない
- のどかで暮らしやすいが、買い物がとにかく不便
- 定住したくなるような商業施設があるといい
- 電車、路線バス等の交通機関が少なく不便すぎる
- 飲食店が少ない



町民の声



■町民の声

- ・高齢者と子供たちが触れ合える場所がほしい
- ・空き家をなくして
- ・高齢者のための支援施設を増やして
- ・緊急外来対応や入院できる病院がほしい
- ・リハビリ施設がほしい
- ・足の調子が悪くて一人で出かけられない
- ・福利厚生を充実させて

■町民の声

- ・町としての一体感がない
- ・誰もがアクセスしやすい交流拠点をつくって
- ・散歩できる場所が欲しい。癒しの場も必要です。
- ・高齢者でも使用可能な健康器具がある広い公園必要
- ・車イス利用者にとっては住みにくい町です
- ・車の免許返納後どう生活したらいいのですか？



町の取組

Now

町の取組 Now

コロナの影響もあるが、**コミュニティ**が弱くなっている

今、町が取り組んでいる事...

- スポーツイベント
- 森のマルシェ

(R5年度も継続して、スポーツイベントやマルシェを実施予定)

イベントには、
町内外の社会人、町の小中学生
近隣の住民中心に近隣の高校生も参加



みさとわくわくフェスタ2022 令和4年度 スポーツ庁 運動・スポーツ習慣化促進事業

2/19 (日) 開催

時間リレーマラソン
RELAY MARATHON

美里町2時間
リレーマラソン

初心者からベテランまで楽しめる！
家族で挑戦できる！
ご近所さんチームもOK!
チームで衣装を揃えて盛り上がろう！

日程：令和5年2月19日（日） 場所：美里町遺跡の森総合公園
美里町遺跡の森総合公園内に設置されたコースを2時間でどれだけ周回（約900m）を重ねられるかをタスキリレー形式で競います。チームのペースでゆっくり走ってもOK！メンバーと励まし合い、2時間のレースを楽しみましょう！

募集種目：2時間リレーマラソン
募集定員：100組（1チーム4～9名）
参加費用：1チーム5,000円（税込）
参加対象：小学生以上（詳細は裏面をご確認ください）
申込方法：専用サイトより申込み
申込期間：令和4年11月15日(火)10時～令和5年1月23日(月)16時

主催：美里町 運営：株式会社ルネサンス

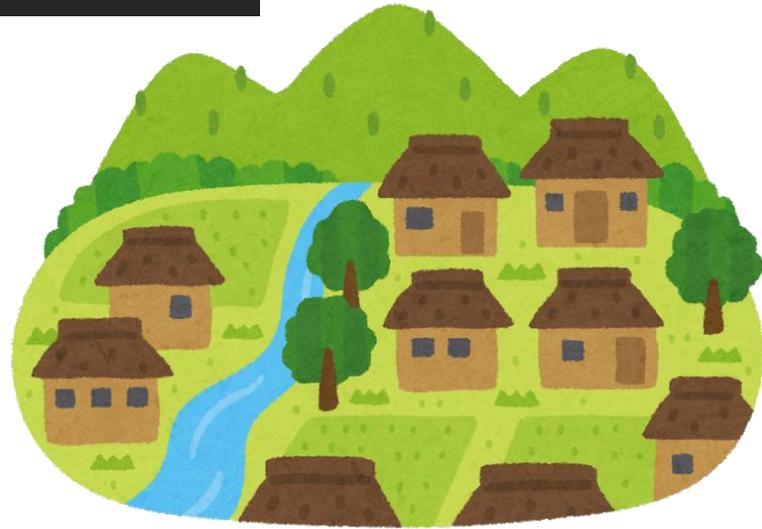
- * 町民の生活利便性の確保のため
- * コミュニティの拠点づくりとして

商業施設の誘致活動 をしています！



町の取組 Now

Before



After



生活行動や消費活動は町外へ

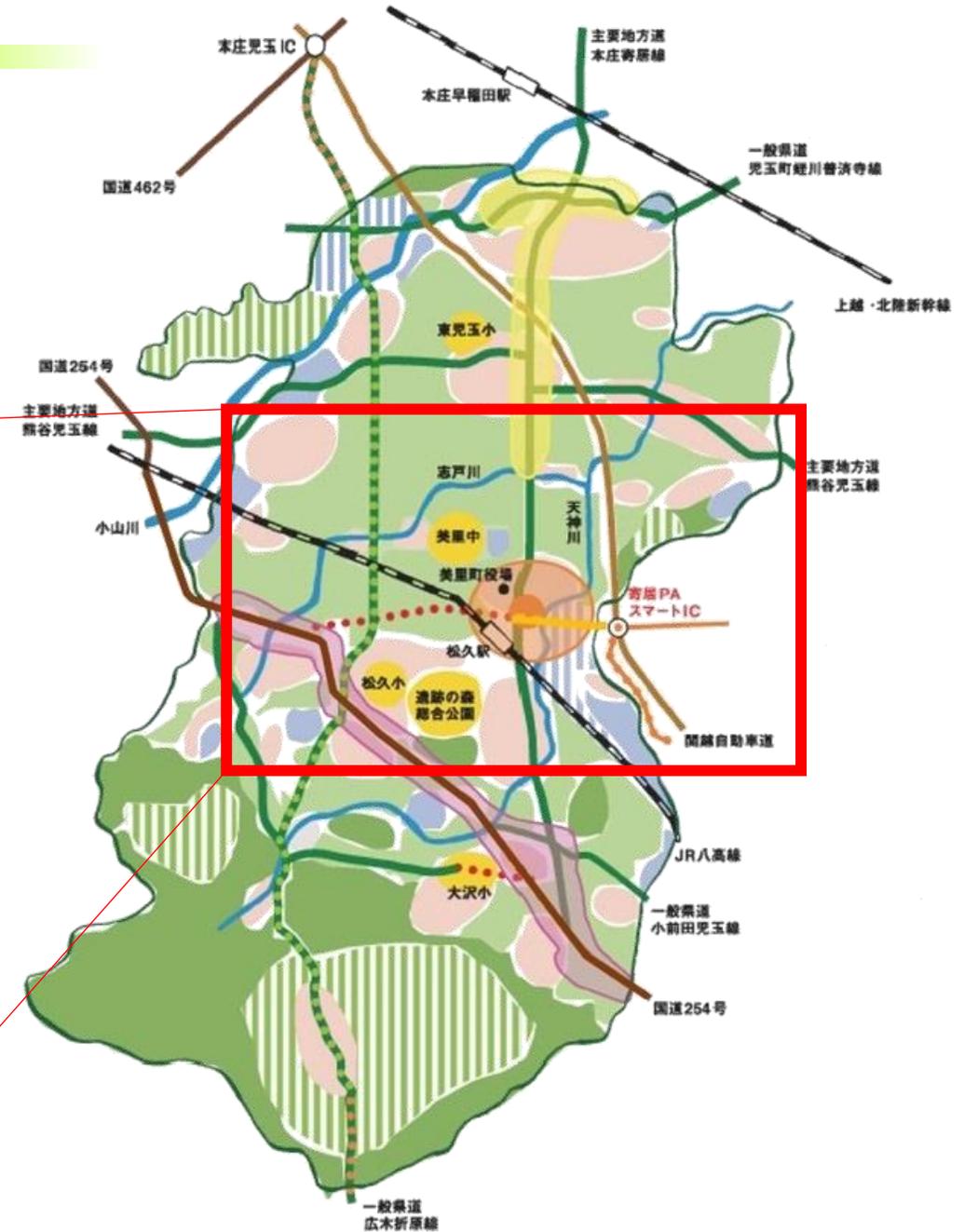
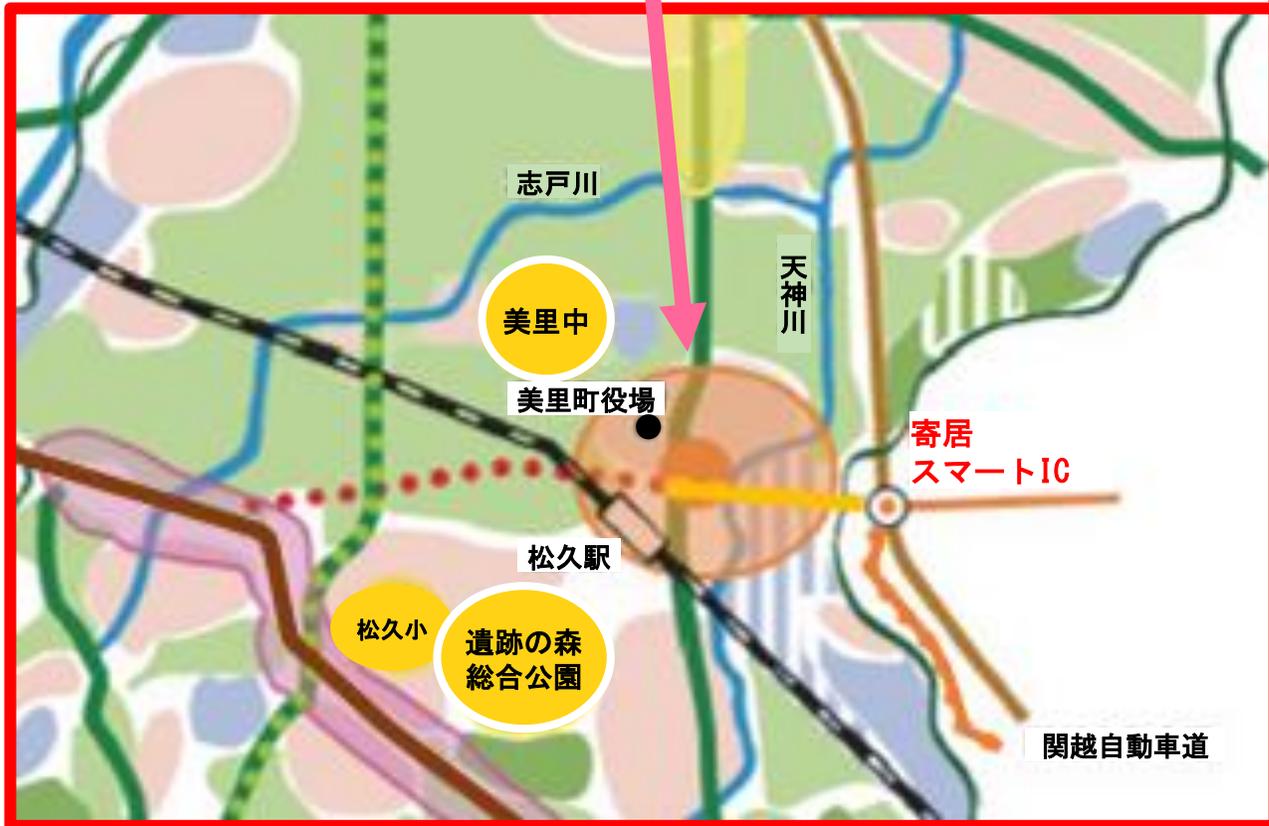
- ・出かける場所がない
- ・若者が利用しやすい施設がない
- ・高齢者と子供たちが触れ合える場所がない
- ・誰もがアクセスしやすい交流拠点がない

商業施設を核とした拠点を形成する

- ・普段の買い物は町内で完結
- ・コミュニティの場の創出
- ・ウォーカブルなまち
- ・今後も住み続けたいまち

町の取組 Now

まちづくり拠点地区
(中心拠点)



残された課題

残された 課題



■高齢者の声

- ・認知症になりたくない
- ・車は運転したくないけど・・・
- ・健康のため体動かしたい、頭も鍛えたい
- ・スマホ使いたいけど・・・誰か教えて
- ・出かけたい場所ないし・・・
- ・活字読むのが大変

■高齢者の声

- ・人に迷惑かけたくない
- ・一人暮らしだから・・・会話がない
- ・外出するのが、おっくうだから・・・家から出ない
- ・あまり体は動かせない
- ・友達がいない
- ・もっと孫と遊びたい



残された 課題

「スポーツイベント」や「森のマルシェ」は若者中心になりがち・・・。

結果として、高齢者の参加者少なかった。



- 体を使うイベントやマルシェには、ちょっと足を運べない・・・
- 高齢者同士で楽しみたい・・・

残された 課題

現在、町で実施している 高齢者向けイベント

- ✓ 元気！いきいき100歳体操
- ✓ ターゲットバードゴルフ
- ✓ ミムリン健幸ポイント事業
- ✓ るんるん若ガエル運動教室
- ✓ カラオケ



- ✓ 将棋
- ✓ エージレス体操
- ✓ 体改善クラブ

企業の皆さまへ

企業の皆さまへ

高齢者を含めた

「すべての町民が生き生きと活動できるまち」の実現を目指して

〈提案していただきたいこと〉

- **元気ハツラツ**な高齢者を増やす仕掛け
- **頭も体も元気**でいられるような仕掛け
- **世代を超えたコミュニティ**を作る仕掛け

これまでに無いような、そして中心拠点に
高齢者が自然に集まってくるような提案をお待ちしています！

■ 場所の提供

公民館、コミュニティセンター、駐車場等の公共施設

■ 人の紹介

実証事業の協力町民・法人・参加者

■ 広報

町広報紙、SNSなど

企業の皆さまへ

—町と提携するメリット—

- 誘致を進めている商業施設内での事業展開
- モデルケースとして横展開が可能
- 町SNSでPR

(広報紙、Instagram、LINE、Facebook、X)

まとめ

【目指す姿】

町の中心拠点を核に、すべての町民が生き生きと活動する町

【困っていること】

高齢者と若者が交流でき、気軽に参加できるイベントが少ない
中心拠点到高齢者も自然に集まってくるような仕掛けがない

【提案してほしいこと】

- ・元気ハツラツな高齢者を増やす仕掛け
- ・頭も体も元気でいられるような仕掛け
- ・世代を超えたコミュニティを作る仕掛け

Win・Winで共にHappyにならしましょう！

【参考】

埼玉版スーパー・シティプロジェクト

×

美里 Super Town プロジェクト



美里 Super Town プロジェクト

■エントリーシート概要

概要

スマートICによる新たなポテンシャルを活かした生活・経済活動の中心となる機能の集約により、
町民の生活と自然環境が共生したコンパクトで“美力”的な拠点の構築を目指す。
 ※「**美力**（みりょく）」とは、美里町の魅力を意味する造語である。



課題

- ・現在、約11,000人の人口が20年後の2040年には8,400人まで減少。また、高齢化も更に進む。
- ・商店街や市街地がないため、町民の**生活・消費活動が町外に依存**している。
- ・自然環境や観光資源は多彩だが、活かされてない。

	コンセプト（目的）	目標時期	検討したい取組（施策）	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	都市機能の集積による 生活利便性の向上 及び 賑わいの創出 町内消費の拡大	中期 (5年)	買物や食事、医療、交流等の 日常生活に必要な都市機能の集約 を図る。 官民連携による地域活性化施設の整備やテレワークの推進により、 地域経済の活性化 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活機能（商業・医療・福祉）の民間誘導 ・官民連携の体制づくり ・地域資源の活用
スマート	自動運転技術を活用したスクールバスの運行と 交通弱者の移動の確保	長期 (10年)	スマート技術を活用したスクールバスの運行や、 中心拠点地区と各集落間のスムーズな移動 が可能となる体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティサービス（自動運転・EV等）
	町民の健康づくり・データ構築	短期 (3年)	健幸ポイント事業に合わせて、ICTおよびSIBを活用したケア体制を構築する（遠隔医療等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア ・遠隔医療
レジリエント	災害時でも途絶えない電源の確保	中期 (5年)	当地区の核となる 地域活性化施設を防災拠点 として活用し、災害時でも途切れない電源を確保し、災害に強い地域を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池 ・防災情報デジタル化
	脱炭素社会に向けたエネルギーの地産地消	中期 (5年)	再生可能エネルギーによる地域新電力の導入や工業団地のエネルギー融通により 脱炭素化 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電・新電力 ・再生可能エネルギー



■美里町都市計画マスタープラン（R5.3）

- (1) 町民生活の利便性の向上
- (2) 豊かな自然環境の多面的活用
- (3) “美力”あるまちの核の形成による持続可能なまちづくり

